

●新入生へのメッセージ	1
●平成11年度図書館カレンダー（静岡）	2
●平成11年度図書館カレンダー（浜松）	3
●図書館4階案内図	4・5
●新入生オリエンテーションのお知らせ	6
●図書館の動き・教官著作寄贈図書	7
●肖像写真展『時代を捉えた男たち』	8

新入生へのメッセージ

附属図書館長

杉田泰一

新入生諸君、入学おめでとう！ 本学の合格通知を受けてから、諸君は「おめでとう」というこの言葉を何度耳にしたことであろうか。そしてそのたびに諸君は大学生活への期待で胸をふくらませたのではなかろうか。この時の純粋な志を大切にしてほしい。というも、この志は将来に投影されて、諸君を導く目的となり、諸君に指針を与えるからである。もつとも諸君がいつも誰かから何かを待ち望んでいるような、消極的な態度では、この志は大学の現実に直面してもろくも崩れて行く。

いま教育界では、「自ら課題を見つけ、自ら考え、問題を解決していく力」（「文部広報」）が重要視されているが、まさに大学生活こそ、学問への、こうした積極的な姿勢が必要であり、望まれる。図書館では諸君の要望に応え、諸君の勉学を支援するために、諸授業のテキストや参考図書等を開架に備えて諸君の来館を待っているの、講義を受けて疑問に思うことや不明な点があったとしたら、それを放置せずに、早速図書館の資料で調べてほしい。こうした作業によって確かな知識が諸君のうちに

定着するはずである。知識の定着は諸君の視野を拡げ、ものの見方を深めることになるだろう。諸君を形成するのはほかならない諸君自身である。「人間はみずからが造ったところのものになるのである」とはある哲学者の言葉であるが、この意味からすれば諸君はみずから自分を造っていかねばならないのである。そのためにも図書館を自己形成の場として諸君が活用することを願っている。図書館は諸君が活用するためにあるのである。

現在、本学の図書館には約百万冊の書籍が所蔵され、本学の研究・教育に利用されている。新しい知識を得たり、先人の知恵を学ぶためには、図書館の活用はぜひとも必要である。それにしても、ひよっとしたら諸君のなかには大学図書館に不案内な人もいるかも知れない。不案内の人はどんなことでも遠慮せずに係の職員にたずねてほしい。係員は懇切丁寧に応えてくれるはずである。図書館を活用して四年間の充実した大学生活を！ これが新入生諸君への、図書館員全体からのメッセージである。

静岡大学附属図書館[本館]開館日程表

1999. 4. 1~2000. 3. 31

月/曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火						
4			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
5					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
6		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
7			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
8						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
9			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				
10					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
12			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
1						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
2		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29						
3			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			

☐ 開館 平日 9:00~20:45 土曜日 9:00~17:00

☐ 開館 平日 9:00~17:00 各季の休業期間中

☐ 休館 日曜・祝日、創立記念日、年末年始、各季の休業期間中の土曜日

※ その他の臨時の休館日は別途お知らせします。

新入生のためのライブラリー・オリエンテーションのお知らせ

新入生の皆さん静岡大学への入学おめでとうございます。

附属図書館では図書の閲覧・貸出や資料のコピーサービスだけでなく、資料の探し方、他大学図書館への紹介、他大学図書館からのコピーの取り寄せ、パソコンでの検索、情報コンセントの利用等、様々なサービスをしています。

このオリエンテーションでは、これらのサービスの案内やパソコンでの資料検索方法等紹介します。そして1人1台のパソコンで実際に検索実習していただきます。

また、館内ツアーでは通常見ることのできない書庫内の60万冊の図書や、古い新聞や雑誌のバックナンバーを見ていただこうと思っています。書庫には通常学部学生は入れませんので是非この機会に書庫に入りこれらの資料に直接触れてみて下さい。

1. 図書館案内とOPAC及びWebCatの使用法

日 時 : 4月12日(月)～4月23日(金)の2週間
時 間 : 13:20～14:20
集合場所 : 図書館5階第2閲覧室 (HARVEST ROOM)
内 容 : ☆図書館の利用方法と館内ツアー
☆OPAC(利用者用オンライン目録)の使い方
☆WebCat(全国総合目録データベース)の使い方

2. 文系の学生のためのCD-ROM情報検索とホームページの見方

日 時 : 5月10日(月)～5月14日(金) 13:20～14:05
集合場所 : 図書館5階第2閲覧室 (HARVEST ROOM)
内 容 : 雑誌記事索引、朝日新聞記事データベース、国立国会図書館蔵書目録、辞典、Global Books in Print PLUS等のCD-ROMの利用のしかた、国内外大学等のホームページの見方

3. 理系の学生のためのCD-ROM情報検索とホームページの見方

日 時 : 5月10日(月)～5月14日(金) 15:00～15:45
集合場所 : 5階第2閲覧室 (HARVEST ROOM)
内 容 : Current Contents (Physical, Chemical & Earth Sciences編、Life Science編) CA on CD (Chemical Abstracts)、雑誌記事索引、Global Books in Print PLUS、科学技術文献速報、理科学年表等のCD-ROMの利用のしかた、国内外大学等のホームページの見方

4. 夜間主コースのための図書館案内

日 時 : 4月15日(木)、4月22日(木) 19:30～20:30の2回
集合場所 : 5階第2閲覧室 (HARVEST ROOM)
内 容 : ☆図書館の利用法と館内ツアー
☆OPAC、WebCat、CD-ROMでの検索法、国内外大学等のホームページの見方

☆1回の定員は16名です。予約される方は参考カウンターに申込み下さい。

◆静岡県大学協議会実務研修会

(平成10月12月10日(木))

於: 附属図書館 SCS メディアルーム)

静岡県大学協議会の実質的活動の第一弾として、実務研修会が開催された。静岡県立大学短期大学部の竹内助教を講師に招いて、「電子図書館時代の大学図書館の在り方」と題した講演が行われ、サブ会場の浜松分館にも中継された。

引き続き行われた相互協力実務担当者による懇談会では、活発な意見交換が行われ、相互協力・連携強化の重要性を改めて共通認識した。

◆平成10年度第3回附属図書館委員会

(平成10年12月18日(金))

於: 図書館会議室)

議題

1. 平成10年度学生用図書購入費第2次配分について
2. 平成10年度外国雑誌購入費の配分について
3. 静岡県大学附属図書館利用規程の一部改正について
4. 情報学部及び工学部4年一貫教育の充実のための条件整備について

報告事項

1. 附属図書館(本館)における利用者サービスの拡充について
2. 平成10年度図書資料(大型コレクション)収書計画の申請結果について
3. 平成11年度図書資料(大型コレクション)収書計画の申請について
4. 年末年始の図書館閉館について

◆図書館主催講演会

(平成11年1月28日(木))

於: 大学会館)

大阪大学附属図書館の大西参考調査掛長を講師に迎え、「大学附属図書館が目指すもの—電子図書館化の日米比較を通して—」と題して講演会が行われた。

講演は、在外研究員として滞在したカルフォルニア大学バークレー校図書館での研修実績を基にすめられ、米国の大学に於ける図書館電子化への取組みが全学的な意志と要望に沿ったものであり、明確な将来の構想をもって行われつつあることが紹介された。そして日米の大学図書館を取巻く環境の違いをふまえつつ、電子化においてこの格差をどのように打開していくかの課題も提示された。

会場には、学内教職員をはじめ、県内の他大学図書館からの参加者もあった。



◆平成10年度第4回附属図書館委員会

(平成11年2月19日(金))

於: 図書館会議室)

議題

1. 平成12年度概算要求事項について
2. 不用図書について

報告事項

1. 3委員会について
2. 平成11年度附属図書館委員会等の委員選出について

教官著作寄贈図書一覧

* このリストは本学教職員により著作(等)され図書館にご恵贈していただいた図書を一覧にしたものです。受入期間は平成10年9月から平成11年2月までです。なお、所属は受入当時の所属を示します。今回はすべて本館受入分です。

◇岡崎幸司(人文学部)

- ・企業集団と系列融資: 高度成長期の銀行保証借入に関する研究 文真堂 【338.54/O48】

◇河合香史(人文学部)

- ・野の医療: 牧畜民チャムスの身体社会 東京大学出版会 【389.454/KA93】

◇桑島道夫(人文学部)

- ・現代中国短編集 (藤井省三編) <一部訳> 平凡社 (平凡社ライブラリー; 239) 【080/H51/S239】

- ◇国分幸（元教官）
 - ・デスポティズムとアソシエーション構想 世界書院 【313.9/KO45】
- ◇櫻井良治（人文学部）
 - ・日本の土地税制 税務経理協会 【345.1/SA47】
- ◇杉山公男（農学部）
 - ・緑茶文化と日本人：World O-CHA Festival に向けて <共著> ぎょうせい 【619.8/KU33】
- ◇田中登（人文学部）
 - ・プレヴォーの世界：啓蒙の世紀における感性丸善 【953/P92T】
- ◇本多隆成（人文学部）
 - ・森町の棟札・金石文（森町編さん委員会編）<監修・執筆> 森町（森町史；資料編 別冊）【215.4/MO46/2(A)】
 - ・浅羽町史 資料編 1 考古・古代・中世（浅羽町編さん委員会編）<監修・執筆> 浅羽町 【215.4/A81/3(1)】
 - ・浅羽町史 資料編 3 近現代（浅羽町編さん委員会編）<監修・執筆> 浅羽町 【215.4/A81/3(3)】
 - ・浅羽町史 民族編（浅羽町編さん委員会編）<監修・執筆> 浅羽町 【215.4/A81/2】
- ◇本多隆成・山本義彦（人文学部）
 - ・静岡県の歴史【新版】<共著> 山川出版社（県史；22）【215.4/SH94】
- ◇南利明（情報学部）
 - ・ナチス・ドイツの社会と国家：民族共同体の形成と展開 劉草書房 【234.074/MI37】開架
 - ・ナチス・ドイツの社会と国家：民族共同体の形成と展開 劉草書房 【234.074/MI37】
- ◇村松眞一（名誉教授）
 - ・マシュー・アーノルドの美意識：魂の癒しを求めて リーベル出版 【931/A79M】
- ◇渡邊弥生（教育学部）
 - ・学習障害(LD)ってなに？ <共著> 黎明書房 【378/TA47】
 - ・子どもの心がしくさでわかる本：発達心理学による楽しい子育てチェック PHP 研究所 【376.11/W46】
 - ・ソーシャル・スキル・トレーニング：略称 SST 日本文化科学社（講座サイコセラピー；11）【149/KO98/11】

図書館では学内出版物及び学内関係者が執筆した図書資料を収集しています。出版されましたら是非、図書館にご惠顧下さるようお願いします。

「時代を捉えた男たち - 明治を創った人々の肖像写真展 -」 たくさんのご来場、ありがとうございました。

*静岡会場：平成11年1月19日（火）～1月26日（火）

静岡大学附属図書館 4階カウンター脇

*浜松会場：平成11年2月1日（月）～2月8日（月）

静岡大学附属図書館浜松分館 1階新聞閲覧コーナー横

上記日程・会場で開催しました展示会では、幕末・明治期に活躍した有名な人々の肖像写真真を秋田県角館町の武家屋敷、青柳家からお借りし（徳川慶喜の写真はストライプハウス美術館所蔵）展示したものです。



期間中たくさんの方々が来場者がありましたが本学教職員や学生の皆さんから「副島種臣がかっこよかった」「西郷隆盛の顔はもっとまるまるしているのかと思っていた」など、驚きの感想や、「また企画して下さい」「次回を楽しみにしてます」などの励ましのメッセージをいただくことができました。

図書館では今後もこうした展示会などを行っていきたく思いますので、ご支援の程よろしく申し上げます。